

# 牧けあぶらん関目 牧訪問看護ステーション関目出張所

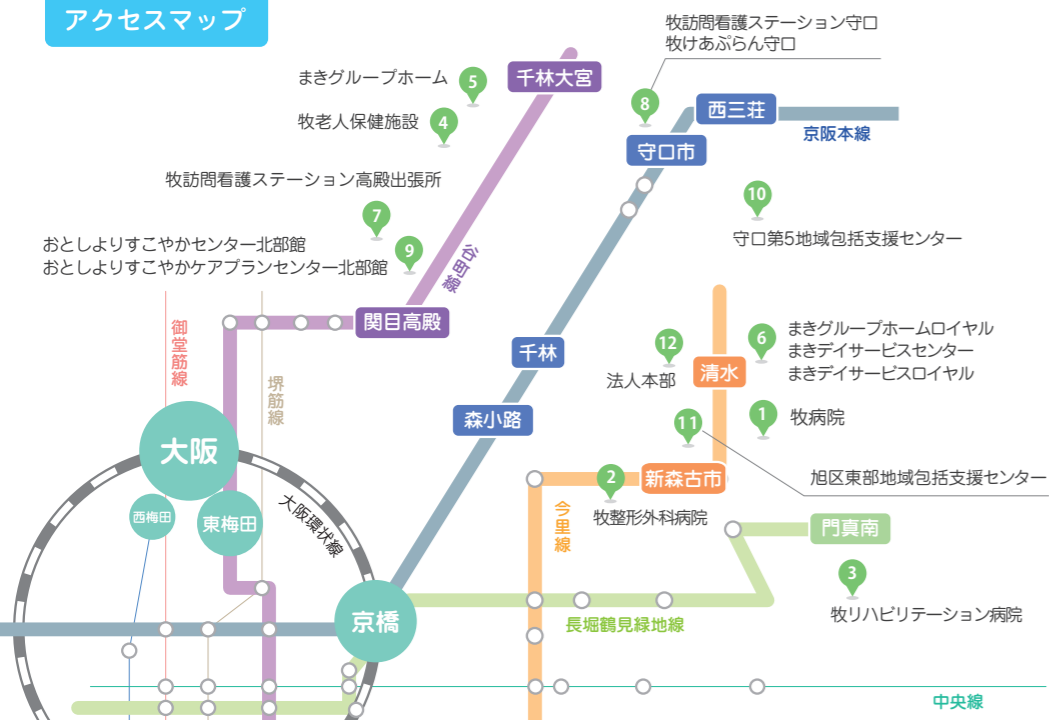


5月1日より牧整形外科病院内に  
開設いたします。  
お気軽にお問合せください。



Tel.06-6953-1235 牧けあぶらん清水

## アクセスマップ



牧ヘルスケアグループ 特定医療法人清翠会

### 私たちの理念

## Medical for Happiness

一人ひとりの幸せな人生を支えるために

### 私たちの約束

#### 『Professional』

医療人としての誇りと謙虚さを持ち、日々研鑽を重ねます。

#### 『Heart』

あたたかい想いやりの心とともに、あなたに寄り添います。

#### 『Team』

和をもった信頼されるチームで、あなたを支えます。

URL <http://www.maki-group.jp>

発行日 2018年4月1日 編集者 法人広報委員会  
発行者 特定医療法人清翠会 編集・印刷 株式会社 一心社

- 1 牧病院**  
〒535-0022 大阪市旭区新森7-10-28  
TEL: 06-6953-0120  
牧病院デイケアセンター  
TEL: 06-6953-1881  
牧病院訪問リハビリテーション  
TEL: 070-5043-0494
- 2 牧整形外科病院**  
〒536-0008 大阪市城東区関目6-15-30  
TEL: 06-6786-6200  
牧けあぶらん関目 (平成30年5月開設予定)  
牧訪問看護ステーション関目出張所 (平成30年5月開設予定)
- 3 牧リハビリテーション病院**  
〒571-0015 大阪府門真市三ツ島3-6-34  
TEL: 072-887-0010  
牧リハビリテーション病院  
訪問リハビリテーション門真  
TEL: 072-887-0010  
牧リハビリテーション病院デイケア門真  
TEL: 072-887-0050
- 4 牧老人保健施設**  
〒535-0004 大阪市旭区生江2-15-14  
TEL: 06-6929-0300
- 5 まきグループホーム**  
〒535-0004 大阪市旭区生江2-14-24  
TEL: 06-6929-5355
- 6 まきグループホームロイヤル**  
〒535-0021 大阪市旭区清水4-2-22  
TEL: 06-6951-1370  
まきデイサービスロイヤル  
TEL: 06-6951-1370  
まきデイサービスセンター  
TEL: 06-6953-1506
- 7 牧訪問看護ステーション高殿出張所**  
TEL: 06-6953-1222  
**牧ヘルパーステーション**  
TEL: 06-6953-1107  
**牧けあぶらん清水**  
TEL: 06-6953-1235  
**牧ふくし用具**  
TEL: 06-6958-1030
- 8 牧訪問看護ステーション守口**  
TEL: 06-6991-5556  
**牧けあぶらん守口**  
TEL: 06-6991-5557
- 9 大阪市立介護老人保健施設  
おとしよりすこやかセンター北部館**  
TEL: 06-6955-4865  
**おとしよりすこやかケアプラザセンター北部館**  
TEL: 06-6955-7511
- 10 守口第5地域包括支援センター**  
TEL: 06-6992-1180
- 11 旭区東部地域包括支援センター**  
TEL: 06-4254-3336
- 12 法人本部**  
TEL: 06-6953-0190

この広報誌は、メディアユニバーサルデザインに配慮して制作しております。

# まき 倶楽部

2018  
春  
Spring

トピックス

平成30年3月1日  
牧整形外科病院 診療スタート!  
院長・副院長にインタビュー!

vol.113

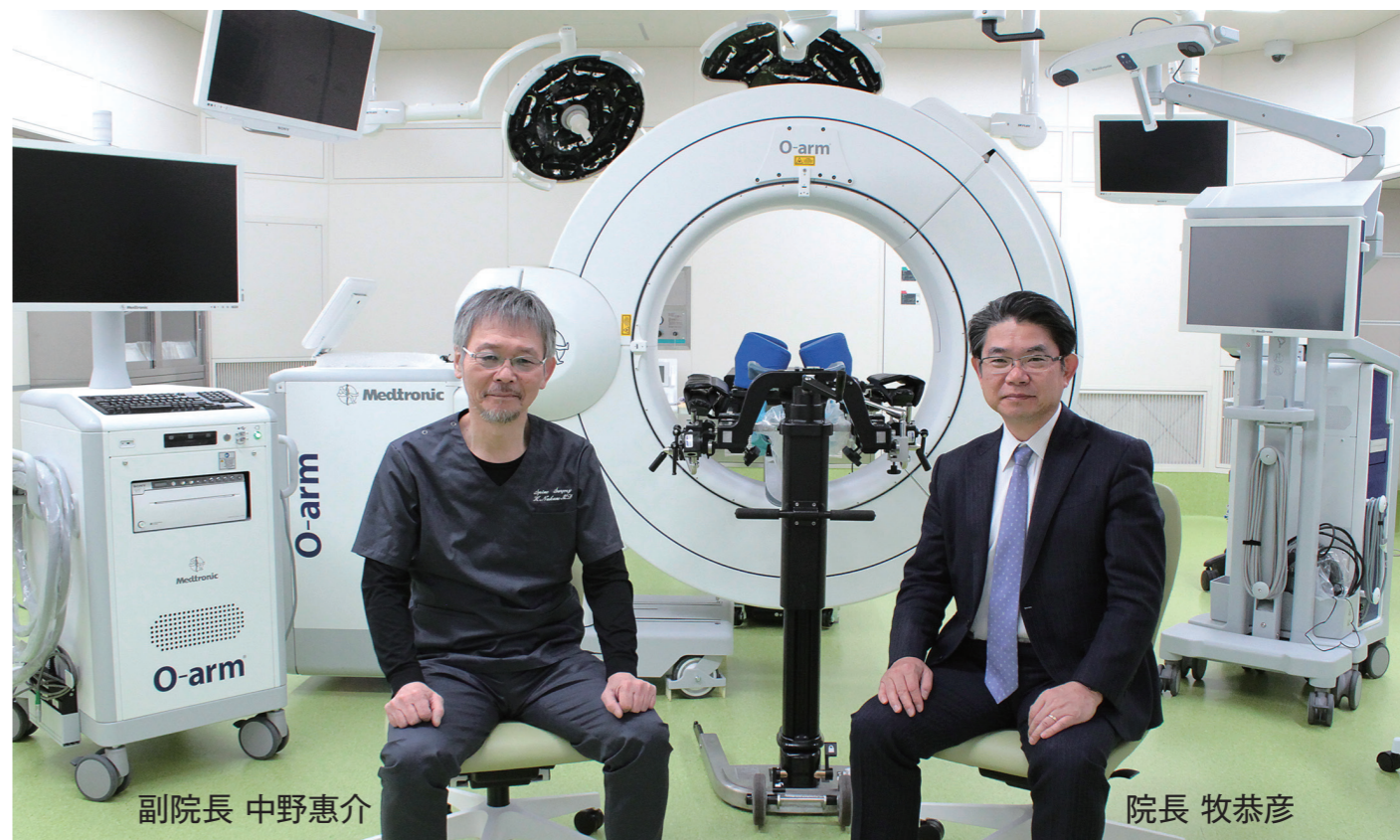


- ◎ 新しい「牧病院」の紹介
- ◎ 回復期リハビリテーション病院の役割
- ◎ 訪問リハビリテーション
- ◎ 訪問看護



# 専門医・スタッフと充実設備による 高度な医療サービスを、 24時間365日提供する「牧整形外科病院」

平成30年3月1日、牧整形外科病院が診療を開始いたしました。そこで、牧ヘルスケアグループの理事長でもある牧恭彦院長と、当院の脊椎センター長として手術も担当する中野恵介副院長に開設の思いや今後の抱負についてインタビューしました。



## 牧院長への質問

Q:「牧整形外科病院」について教えてください。  
A:「(整形外科に関する)地域の患者さんをもつても対応する病院です」「専門的な治療ができる設備を充実させた病院です」

以前から、夜間・休日、小児整形の救急を対応してくれる病院が少ないと、気になっていました。私自身も整形外科医であるので、整形外科医が24時間365日待機している病院を作りたいと考えていました。それとは別に、専門的な治療や検査を受けたいとなると少し離れた大きな病院に行かないといけない、というも気になっていましたので、地域の病院でも専門的な検査や治療が受けられる病院にしたいと思い、MRIや手術室などの設備はこの規模の病院にしては非常に充実した内容になっています。

画像診断や手術など普段の診療以上の対応が必要になった際にかかりつけ医の先生と連携することで、地域医療の充実に貢献できる病院でありたいと考えています。



## 牧院長 & 中野副院長

Q:これまでの牧病院とは何が違いますか?  
A:対応できる幅が広がり、さらにより専門的な治療が可能となります。

整形外科については、以前からも休日の昼間や週2日程度の夜間対応などは行っていましたが、これからは24時間365日の救急対応が可能となります。また、中野医師が中心となる脊椎の手術や、麻酔科医によるペインクリニックなど、これまでよりも対応できる幅が広がります。もちろん徳永医師の人工関節の手術や、山口医師によるスポーツ整形外科など、これまでも牧病院で行っていた診療は継続されますのでご安心ください。

牧病院については従来からの消化器内科外科に加え、循環器内科や呼吸器内科などが加わり、在宅で生活されている高齢者を支える機能を追加するなどの変化があります。

「牧病院」「牧整形外科病院」この2つの病院を合わせて考えると、これまで「牧病院」1つで実践してきたことよりも充実した医療を地域の方々に提供できる体制となります。

## 中野副院長への質問

Q:中野副院長の経歴を教えてください。  
A:脊椎(背骨)を専門として約38年になります。

医師になって2、3年は股関節や膝の手術、一般的な怪我の対応など、整形外科医として幅広く何でも対応していました。そこから先輩の薦めもあり、脊椎の専門家となり、今年で38年になります。青森県の弘前大学医学部に進学して進んでいたので卒業後も青森で働いていましたが、実は西宮市出身の関西人です。いずれは関西に戻って来たいと思っていたところ、今回、ご縁があって牧ヘルスケアグループの一員となることになりました。



Q:この病院で実践したいことなどありますか?  
A:地域の健康寿命の延伸に貢献できるよう自らの専門性を発揮していきます。

長寿大国の日本は、元気に自立して生活している期間を示す健康寿命も世界トップレベルです。しかしながら「健康上の問題で日常生活に影響がある期間(不健康期間)」の長さもまた世界トップレベルで男性は9年、女性では12年ほどあります。この期間をもっと短くしていきたいと考えています。

この健康寿命に最も大きく影響していると言われているのが、骨・筋肉・関節などの病気や怪我です。その中でも、「せきせうかんきやくしやう脊柱管狭窄症」、「けいせいしやう頸髄症」、「せきせうかんきやくしやう脊椎圧迫骨折」という脊椎(背骨)の問題が多くあります。これらは私の専門分野ですので、しっかりと対応していきたいです。





## 新しい牧病院にご期待ください

牧病院 院長 中谷 武嗣 (なかたに たけし)



このたび整形外科の入院機能や手術が牧整形外科病院へ移りました。これまでのやり方にとられることなく、新たな牧病院を構築する良い機会に恵まれたと考えています。振り返りますと、牧病院は初代院長が地域の消化器外科・内科病院として立ち上げ、その後現理事長の思いで地域に根ざした病院とするとともに本格的な整形外科診療を行うようになりました。

そして循環器を専門とする私が入職し、呼吸器内科を専門とする医師や皮膚科も加わり、いままでの消化器内科・外科・放射線科、リハビリテーション科、漢方外来とあわせた診療体制がとれるようになりました。

今回、整形外科が外来のみとなったことで、ある意味、原点に立ち返り、消化器が中心だった牧病院が循環器や呼吸器、漢方、皮膚科を加えて、大きくバージョンアップして戻ってきたように思います。

さらに病棟としても、地域包括ケア病棟を開設したことで、急性期の病状を脱して、あと少し療養すれば自宅へ戻れる方を支援することができます。また在宅療養されている方が発熱等で緊急入院が必要な際に対応するなど、在宅での暮らしを守りささえる地域に根ざした病院として尽力いたします。

これからの牧病院にどうぞご期待ください。

## 回復期リハビリテーション病院の役割

牧リハビリテーション病院 院長 高家 幹夫 (たかや みきお)



牧整形外科病院が3月に診療を開始しました。グループに新たな柱ができたことを頼もしく思うとともに、2005年の当院開設当時のことを思い出します。ただし、回復期入院リハビリテーションを専門とするため、一般の方には未だに理解され難いようですので改めて活動状況を紹介させていただきます。

当院は、50床の病棟を2棟有する100床の病院ですが、入院対象になるのは、基本的には発症後もしくは手術後60日以内の方と定められています。その上で、150日以内の入院訓練が可能なのは脳や脊髄の疾患で、高次脳機能障害・重度脊髄障害などでは更に30日の延長が認められます。大腿骨や骨盤など主に膝から上の骨折は90日以内で、外科手術又は肺炎等の治療時の安静による廃用症候群も同様に認められています。但し、膝や股の人工関節置換術では手術後30日以内の転入院が必要です。更に、以上の日数は限度であり、寧ろできるだけ早く家に帰れるよう適切なリハビリを計画し、改善が乏しければ迅速に次へリレーするよう方向付けられています。

当院の過去の入院実績は、脳血管疾患と運動器疾患が例年ほぼ半々で廃用症候群は僅かです。因みに、平成28年度の退院転帰は在宅が87.0% (老人ホーム9.9%) でした。転院が7.8%で、その半分がPEG造設や内科系疾患で、再発転院は全体の1%程度でした。現在、医師は常勤5非常勤4の計9名、療法士は理学38作業28言語聴覚11の計77名の診療体制です。

私は脳神経外科医なので、主に脳卒中の方を担当していますが、麻痺だけでなく高次脳機能障害や経管栄養の方が多いたのが当院の特徴です。それでも、平均在院日数は脳卒中と骨折を合わせて82.5日でした。糖尿病、心房細動、環動態不安定などの合併例も多く、再発予防のための配慮も必要です。

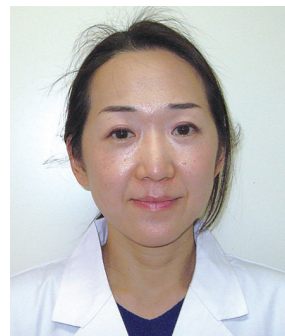
また、当院はできるだけ早期の離床を前提としているため、急性期病院からはできるだけ早く送って頂きたいと思っています。高齢の方は、離床が遅いほど回復が遅れる傾向にありますし、老年症候群も多く発症します。更に、脳疾患では脳血管性認知症のリスクが高まります。

厚生労働省の要介護度別にみた介護が必要となった主な原因の構成割合についての資料によると、要支援では関節疾患・骨折が32.1%で脳血管疾患が15.1%であり、要介護では各々16.7%と24.1%と、共にこれらの疾患が多くを占め、特に脳血管疾患では介護度が高くなります。今後更に高齢化と入院増が予測される中、回復期リハビリテーション病棟の役割は、できるだけ早期に的確なリハを集中的に行うことでこれらの支援や介護の程度を軽減しご家庭での生活に繋げることです。そして、食環境変化で血圧や血糖値も変動するため、退院患者さんには近所のすぐに診てもらえるかかりつけ医に相談するよう指導しています。

入退院や制度的な質問には、地域連携室が誠実に対応していますので、遠慮なくご相談ください。

### 皮膚科と地域包括ケアを担当

皮膚科・内科 信原 桂子 (のぶはら けいこ)



本年2月より非常勤医師として、4月より常勤医師として牧病院に入職いたしました信原桂子と申します。以前は、同法人の小山病院にて、主に入院患者様の内科診療および褥瘡や湿疹・皮膚炎等の治療に携わっておりました。

牧病院では、専門である皮膚科と3月から新たに発足しました地域包括ケア病棟を担当させていただくことになりました。皮膚科については、湿疹・皮膚炎から褥瘡や皮膚潰瘍などの処置など広く診療させていただきたいと思っています。皮膚疾患でお困りの患者様がいらっしゃれば、お気軽に皮膚科外来までご紹介いただけましたら幸いです。

また、3階地域包括ケア病棟では、スタッフとともに力を合わせて患者様が笑顔で在宅復帰していただけるよう努力してまいりたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

### スムーズな自宅復帰へ努力

内科 世古 哲平 (せこ てっぺい)



2018年2月より、同法人の小山病院より入職いたしました世古哲平と申します。

3月から牧病院3階にて新たに発足しました地域包括ケア病棟 (35床) で勤務しております。

地域包括ケア病棟というところは、一般病棟 (急性期) での治療は終了したものの、ご自宅や施設での生活に不安のある患者様に入院療養をしばらくの間継続していただき、自宅復帰に向けた準備を整える病棟です。

患者様が安心してスムーズに復帰していただけるよう、地域の医療機関や介護関連施設と連携を密にして医師、看護師、リハビリスタッフ、医療ソーシャルワーカー等が協力して、地域医療の充実と向上を目指して努力してまいります。どうぞよろしく願いいたします。





## 毎月200名以上の皆さまのもとへ訪問中

～在宅という選択肢～

牧病院訪問リハビリテーション 理学療法士 江口 周平 (えぐち しゅうへい)

### “あなたらしい”生活を支援します

もし、あなた自身あるいはご家族、身の回りの方が突然ケガや病気になり、それまでの生活が大きく変わってしまったら、どれほどの焦りやいらだちを感じるでしょうか。

訪問リハビリテーションの役割は、そんな在宅生活の変化を緩やかにし、どうすれば健康状態を保ち、自分らしい生活を送れることができるのかを一緒に考えながら、専門的な知識・技術で支援することです。

### 幅広いニーズに応えています

通院が困難な理由は人それぞれです。「退院後、家での生活にまだ不安があるのでリハビリを継続したい」「父親に少しでも外出する元気を取り戻してほしい」「妻の身体の痛みを和らげてあげたい」そのようなさまざまな思いにお応えしています。

「治りたい!」「いつまでも健康な状態で生活したい!」という利用者様の思いに応えるべく、法人全体で毎月200名以上の皆さまのもとへ訪問しています。



### ニーズに合わせた専門のスタッフがいます

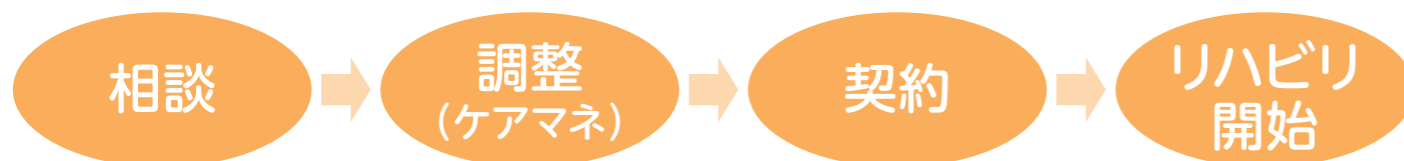
日常生活すべてがリハビリの対象です。朝起きて、服を着替え、家族と会話をし、朝ご飯を食べて、お薬を飲み、外出する。そのひとつひとつに着目します。

たとえば昔はおしゃべりが好きだったが、脳梗塞を発症したあと全く喋らなくなって、食事も食べてくれない。そんなときは、言語聴覚療法士が訪問し、その原因と改善に向けた提案とリハビリを行います。

### 最初の一步はケアマネジャーにご相談ください

まずは担当のケアマネジャーやかかりつけの医師に「自宅でリハビリを受けたい」と相談してみてください。担当者が自宅に訪問して、直に生活のお悩みを伺います。

訪問リハビリテーションの実施には介護保険、医療保険ともに一定の条件があります。



※リハビリテーションの開始には、かかりつけ医の承諾が必要となります。

#### 牧病院訪問リハビリテーション

担当者：山本 裕一、江口 周平

【営業時間】月～土/8:30～17:00 (年末年始除く)

【訪問実施エリア】大阪市 (旭区、鶴見区、城東区、都島区) 守口市 (一部エリア除く)

【連絡先】Tel.070-5043-0494/Fax.06-6953-6862

#### 牧リハビリテーション病院 訪問リハビリテーション門真

担当者：紙谷 拓樹

【営業時間】月～土/8:30～17:00 (年末年始除く)

【訪問実施エリア】門真市・守口市・大東市・東大阪市・大阪市 (鶴見区) 一部

【連絡先】Tel.072-887-0010/Fax.072-887-0268

## 「訪問看護師」+「理学療法士」=幸せな生活

～訪問看護ステーションの方程式～

牧訪問看護ステーション 理学療法士 明比 大 (あけび だい)

ご近所さんとの井戸端会議を楽しみに生活されていた80歳女性。2か月間の入院生活で寝たきりになり自宅に帰ってこられ、翌日から看護師が点滴や体調管理で毎日訪問をしていました。数日後、訪問看護師から「リハビリをしたら、車椅子に座れて外に行けそう」との一言に「いっしょに行きましょう!」と返事をし、翌日に看護師と理学療法士と一緒に訪問しました。体の動きなどを確認すると、リハビリをすれば車いすに座れることがわかり、ケアマネジャーへ相談した結果、理学療法士によるリハビリも週2回実施することになりました。



看護師は、体調や栄養の管理、生活環境を整え、また、夫の体調や介護の相談などを行い、理学療法士は、車椅子に座るために必要な関節の動きや筋力、体力をつける訓練をし、ベッドと車椅子への移動の練習と環境設定を行いました。そして、お互いが訪問前後に体調や状況などについて、時にはipadの動画などを活用しながら情報交換と共有を図りました。

数か月後、車椅子に座って食事が摂れるようになり、日中は車椅子に座って生活する日が増えていきました。ある日、「花咲いているかな?」とポツリ。「桜が満開ですよ。花見に行きませんか?」の誘いに約1年ぶりの外出を決意されました。満開の桜に

「綺麗ななあ」と感動。通りかかったご近所さんに「あなた、今まで何してたん。久しぶりやなあ。もう外に出てええんか?元気になるって良かった、良かった。」と声をかけられて、久しぶりの再会を喜び合っていました。この日から外出する機会も増え、以前のようにご近所さんとの井戸端会議など楽しめるようになりました。

訪問看護ステーションでは、看護師と理学療法士が、毎日利用者の状況を報告し、情報の共有を図っています。訪問看護ステーションは、ますます看護師と他職種との連携が求められる時代になりました。いままで以上に、看護師と理学療法士がお互い尊重し、協力しながら利用者の生活に向き合っていきたいと思います。

